

轉教

2016 12 DEC

平成 28 年 12 月 1 日発行
第 17 卷第 13 号 通算 202 号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 佛立本旨講 妙應寺
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



題字：水谷日尚上人
(Web 版)

ご奉公のこころ

卒塔婆建立の功德

佐渡流罪となつて塚原三昧堂に起居
する日蓮聖人に帰依し、食べ物運
ぶなどして聖人をお守りした阿仏房・
千日尼のご奉公ぶりは有名ですが、同
時期に、親子二代にわたつて日蓮聖

水谷 信 洋

人に帰依しお給仕に励んだ中興入道と
いう信者がいます。中興入道は、日蓮
聖人が赦免されて佐渡から身延山に移
られてからも音信を絶やしませんでし
た。弘安二年には、幼くして亡くなつ

た娘さんの十三回忌に丈六（一丈六尺の意＝約四尺八十センチ）の大塔婆を建立して供養をしました。その志を讃たえた日蓮聖人の御手紙の一節に、

「親子二代にわたって法華経を信仰するばかりでなく、法華経の行者を養やしなうために毎年千里の遠い道もいとわないうで音信されたことはまことに褒ほめるべきである。死去した幼い娘さんの十三回忌の供養にと丈六じょうろくの大塔婆を造り、南無妙法蓮華経の七字をその表に書いたが、この塔婆に北の風が吹けば南の魚類が妙法の風に吹かれて大海の苦惱から離脱し、東

の風が吹く時は西の山に棲む鳥や鹿が畜生道ちくしやうどうを逃れて天上界てんじやうかいに生まれ替かわることが出来る。ましていわんや、その塔婆を直接見て喜んで手に触れ、目に見る人々は計り知れない功德を得ることが出来るだろう」と仰せになっています。

仏法を讃たえるために宝塔を建立する功德は実に大きいものと教わっていましたが、風下で塔婆に当たった風に吹かれるだけでも功德がいただけるのは驚きです。これはつまり、中興入道のように法華経の行者を心から尊敬し千里の道もいとわず日蓮

聖人のみ許を訪ね、心を込めて回向を志し妙法の塔婆を建立する人に近づくだけでも我が身に幸いが及ぶということでありましょう。塔婆そのものが力を持っているのではなく、塔婆を建立しようとする信者の思い、敬いや喜びや労をいとわぬご奉公精神が、塔婆建立を通じて大きな功德となって現れるのです。

佛立本旨講では、先祖のご回向に塔婆を建立するのももちろんのことですが、菩薩の心で他人の病氣全快を祈る応援祈願をする際も、病人の有縁無縁の塔婆を建立して病氣全快

のご利益を顕わしています。また、子孫の信行相続を祈るときも同様に塔婆の建立を欠かしません。

開導聖人は、我らのご奉公を回向第一と心得なさいと教えています。御講を務めるのもお寺参詣するのも、自らが積んだ功德を他に振り向ける回向の精神でしなさいという仰せです。折角教わっている塔婆建立のご奉公を形式化させずに次世代に伝えるためにも、もう一度塔婆建立の功德の大きいことを振り返ってみましょう。

12月のご奉公のすすめ

新本堂が御題目口唱で満たされるように教区や班内の信者宅、特には次世代信者宅をこまめに助行して、信心のよろこびをお寺参詣の喜びを伝えましょう。

な育成ご奉公を続けていく事が報恩ご奉公の一助となります。

- ・「開講本旨再興祈願」朝参詣 週間 1日(木)～7日(水)
- ・「開講本旨再興祈願」口唱会 18日(日) 午前9時半

一、随喜轉教について

佛立本旨講の弘通発展こそ、日尚上人への報恩ご奉公です。班内各家庭の助行を心がけ、祈願、回向の大事を伝え具体的に家族一人一人にすすめる、丁寧

二、年末お塵払い

御宝前の年末お塵払いは12月半ばまでにさせて頂きましょう。特に今年は次世代の方々に実際にやって頂くようにして下さい。なお御本尊・御尊像の汚

12月の寺内行事予定表

1日～7日	開講本旨再興祈願 朝参詣週間
1日(木)	開講本旨再興祈願総講 午前10時半
3日(土)	運営会議 午前10時半
4日(日)	蓮華会・くんげ会 合同御講 午前10時半
10日(土)	連合幹事会 午前9時半
//	後続者育成係連絡会 午前10時半
13日(日)	高祖大士御命日総講 午前10時半
17日(土)	開導聖人御命日総講

損等があつた場合は、必ずお講師に報告して下さい。

すすめて下さい。

三、年末年始の諸奉納

12月26日(月) 年末御有志

(お炭代)・お鏡餅料奉納締切り。

平成29年1月31日(火) 初御

供米料・寒供養・初燈明料奉納

締切り。

日々功德箱に財を積む志が大

事です。御法様のお役に立てる

喜びを家族班内に伝え功德箱の

活用をすすめますよう。

四、成人式の予告

1月22日(日) 午前11時より

本堂で成人式が行なわれます。

人生の節目を御宝前にお礼報告

させて頂く大事を伝えて参加を

五、年末年始の行事

12月25日(日) ～ 31日(土)

年末御礼朝参詣

12月31日(土)

年末御礼御看経 午後4時

1月1日(日祝)

元旦会 午前6時半

六角堂初御看経 午前10時

1月3日(火)

初総講・受持講師の紹介・

祝杯式 午前10時半

教講初顔合せ 午後12時半

1月6日(金) ～ 2月5日(日)

寒参詣

1月6日(金) 日教上人御祥

月お塔婆申し込み締切り

18日(日)

開講本旨再興祈願口唱
会(担当:第一地区)

午前9時半

若い人の口唱会

午前10時半

25日(日)

門祖聖人御命日総講

午前10時半

正副教区長会

午後12時半

26日(月)

お炭代・お鏡餅料
奉納締切

31日(土)

元旦会・初御看経・
初総講準備

年末御礼参詣

午後4時

高祖会が奉修されました



晴天に恵まれた新本堂で初めての高祖会には、四六六人の方にお参詣いただきました。

お参詣された方は・

はじめてお参りました。場所が大変わかりやすいです。(岡山教区Jさん)

局長のはなしで、これからどうして行くか、熱い思いが伝わりました。(福岡教区Mさん)

前に行くくと御看経がとてもしやすいです。(大阪教区Kさん)

青年会時代から久しぶりのご奉公。若い人が少ないですね。

(渋谷教区Tさん)

昔青年会をやっていた人が戻ってきているような感じがですが、新しい人が少ないですね。

(小山教区Iさん)

山本局長の挨拶がためになるし、聞きやすい。(千葉中央教区から御参詣された3人)

御利益談はさがみ原教区のRさん(さがみ原教区、内容は15ページ子どもたちの会参照)と富里教区のYさん、内容は轉教

9月号参照)でした。

平成28年10月の寺内行事報告

1日(土) 開講本旨再興祈願総講

を午前10時半から奉修

1日～7日 開講本旨再興祈願

朝参詣週間

1日(土) 運営会議を午前12時半

から開催

8日(土) 連合幹事会を

午前9時半から開催

// 後続者育成係連絡会を

午前10時半から開催

9日～15日 高祖会無事奉修

祈願朝参詣週間

15日(土) 高祖会準備ご奉公を

午前9時半から実施

16日(日) 高祖会を奉修

快晴の富士山と 聞信寺高祖会団参



バス・自家用車・新幹線で総勢五六名で静岡・聞信寺にお参詣をさせて頂きました。



聞信寺に到着しますと、御住職の奥様が玄関で出迎えて下さいました。

本堂では高祖会の力強い御看経があがり、聞信寺信徒のお子様達の七五三無事養育御礼が言上されました。日在導師よりプレゼントを渡していただき、子ども達は嬉しそうでした。

美味しい御供養と素晴らしい富士山の景観を堪能し、帰りのバスでは楽しいクイズもあり、参詣者一同大喜びでした。

第一座 午前10時

第二座 午前11時半

開導聖人御命日総講を

午前10時半から奉修

17日(月)
25日(火)
門祖聖人御命日総講を

午前10時半から奉修

正副教区長会を

午後12時半から開催

30日(日)
開講本旨再興祈願口唱

会を(担当:第三地区)

午前9時半から奉修

若い人の口唱会を

午前10時半から奉修

31日(月)
赤い羽根共同募金

を締切

年末年始の予定

・年末御礼御看経

12月31日午後4時

・元旦会

1月1日午前6時半

・六角堂初御看経

1月1日午前10時

(バス出発 同8時半

福音館書店前)

(帰着 同12時半頃)

・初総講・祝杯式・新年ご挨拶

1月3日午前10時半

祝杯式・新年ご挨拶を本堂で
実施いたします。

四番町仮道場では、手狭のため略式の祝杯式でしたが、新本

堂では、ゆったりと次の手順で行います。

一．祝杯をご宝前の前で戴く

二．御導師への新年のご挨拶

三．元の場所に戻って着席

四．最後に無始已来を言上

・教講初顔合わせ

1月3日

祝杯式後に各地区毎に行ない

ます。

第一地区 和室

第二地区 2階ホール

第三地区 1階ホール

お寺で無事成人の御礼を

言上していただき

信行相続につなげましょう



今年から選挙権が十八歳に引き下げられたことにより、成人の定義も様変わりしてきています。成人式という一つの節目に

これまでの二十年間を振り返り、感謝の気持ちを新たにすることも大切なことでしょう。

開筵式で新本堂をお祝いしましょう



佛立本旨講妙應寺
新本堂開筵式

平成29年4月23日（日）

〈日尚上人祥月御命日

法要に併修〉

10時〜 式典（本堂）

12時20分〜 完成祝賀会

（東京湾クルーズ船チャーター）

佛立本旨講
創立記念奉告式

同 22日（土）六角堂

11時30分〜

（妙應寺バス出発10時）

なお、祝賀会参加費
（五千円）および開筵式
特別御有志を1月より
受付します。



お寺で甲の御講

席主

港教区 Tさん



席主のTさんは、脊椎症のため、体が言うことを利かないことがあり、いつ調子が悪くなくなるのではないかと心配していました。

上げられたことはお計らい以外の何物でもありません」と席主を務めた息子さんに母親のYさんは喜びを語っています。

「今回、大勢で甲の御講を奉修したく、お寺の和室でさせていただきました。途

「お寺での甲の御講では連合のみなさんにご奉公いただきました。御導師も、お衣だったことがありがたく感じました」
お導師より、後続者育成のため、お寺での御講には若い人の将引をしましょうとご指示いただきました。お寺をお借りするので、一層のご奉公をさせていただきます。

中で、痛みが発症することなく、最後まで席主を勤め

鼎談^{ていだん}

轉教二百号を振り返って (最終回)

日在御導師、久米勲、鳥海早智子

・「轉教」の今後あるべき姿は

御導師 それでは、今後のある

べき姿はどうでしょうネ。

鳥海 最初は分からなかったけ

れど、だんだんご奉公が進んで

きて「なるほどな」と納得がで

きるようになるんです。御導師

が言われていることが理解でき

るようになってくるんです。で

すから、全ての「轉教」は保存

して読み直しています。御利益

談などは良く読みます。個人的

には御利益談は貯金通帳と一緒

でいつでも引き出すことが出来

る財産ですから、必ずとってお

かなくてはダメと皆さんに言っ

てます。自分の貯金通帳よと

言ってます。そうすると、自分

の御利益の幅が広がっていきま

す。

御導師 貯金通帳。それはいい

ですネ。

久米 御利益談は大切だから、

現在は内容を短くしています

が、本人の思いや息吹きが伝わ

るように、増ページしても原文

を掲載した方が良いと思いま

す。

御導師 記録というのは今も変

わらず「轉教」が担っている重

要な事ですネ。それはそうと、

新「轉教」の評判はどうですか？

鳥海 写真がいっぱいでいいわ

ね、という意見が多いです。字

が大きくて見やすいです。

御導師 一般的に、写真が沢山

あつて字が大きくて文字が少な

いと見てくれるようすネ。そ

の中身にちゃんとした御指南の

内容とかがうまくちりばめられ

ていたら目的と合致したことに

なりますネ。でもパッと見たら、

読み物というよりか行事報告が

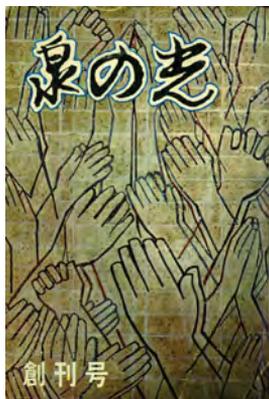
中心で、社内報的な感じは否め

ないですネ。ページ数と内容を

どうするかを今後の編集会議な

どで話し合ってください。「Q

& A」などを加えることは良い



ことですね。また私の提案ですが、信者皆さんにこの信心の良さを表わすキヤッチコピー（標語）を沢山作ってもらって、皆さんが一体となって広める意識をもって結縁に結び付けて欲しいと思います。昔も寒参詣などで標語造りをした記憶があります。

久米 標語造りに参加してもらうのは、前向きな行動をとるための一つの手立てになります。

御導師 分かり易い「Q & A」

のような内容を載せる一方で、難しくても信心の姿勢を伝えていくと、そこにおのずとエネルギーが伝わっていくような気がします。そのエネルギーをどう表わしていくかが重要ですね。

久米 去年の「轉教」の「教務の独り言」のように「思う事」を述べたり、「どういう姿勢でいるか」等を伝えるようなペーシがあるといいのではないか。

御導師 内容を正しく伝えるには、何度も繰り返し伝えて伝える必要がありますので、「寂光の道しるべ」は、御法門を繰り返し繰り返し返しお話しするようにしたんです。それでも全てが頭に入

るわけではないですが、耳に聞きなれてくると理解力が進んできます。また各項目を細分化して、より深く掘り下げていくような手段も今後必要ですね。

久米 これからの「轉教」の内容としては、御導師の御法門、御利益談はそのままオリジナルの形で、それから「Q & A」の形であえずはそれだけでも随分違うのではないですか？ 少しずつ変えていくのがいいでしょうね。

御導師 今後も皆さんの力をあわせて、より良い「轉教」にしていきましょう。

次世代信徒の活躍

港教区 Iさん

一昨年港教区のTさんが帰寂されました。

一人息子のHさん夫妻が信行相続されました。

三代目のご信者誕生です。

お母さんのTさん、班長さんのKさん（今年五月に逝去）に育成され、引き継がれたご宝前を、しっかりとお給仕をされています。

Hさんご夫妻は、お勤めの関係でお講参詣はなかなかできま

せん。

しかし、年一度の乙・祥月お講の席主の時は夫妻でご奉公してくださいます。

今年の二月、Kさん宅の前助

行には、土曜日とあつて、二人共お仕事が休みだったので、初めて、お参詣してくれました。

御戒壇の御磨きや、お講師のお給仕と、きびきびとした姿に頼もしく思いました。

お寺参詣の将引もさせていた

できました。

新本堂になりましたら必ず、お参詣いただくように、約束を交わしました。約束通りに、お寺の行事には必ず、夫妻でお参詣されております。

十月はTさんの三回忌でした。新本堂での法要をお勧めしましたら、十月二十二日に家族四人でさせていたただきたいと連絡をいただきました。

Kさん、Tさんの育成ご奉公の努力の甲斐あつて、成就されたのだと思います。

この受け継がれた御信心を、二人の娘さんにも、引き継がれる様に祈念しております。

一步前進

私の義兄^{あに}のHが、昨年お教化になりましたが、一人で信心がしたいといっています。

私は、皆と一緒に御信心ができませんかと信心増進の御祈願をし、応援祈願も、お願いしました。

すると、本人から、お盆なので、六角堂にお参りしたいというので、日を決めて、一緒にお参詣させて頂きました。

義兄^{あに}は、六角堂に納骨された、

水戸教区 Gさん

妻と姉に手を合わせたら、たいそう喜んで、ありがたそうにお花料や御回向お塔婆をお願いしていました。

その様子を見て御信心が一步前進したかと思えます。

皆さんと一緒に御信心をするようになれるまで、皆さんの応援祈願を頂いて、信心増進を願って行きたいと思えます。

また、Iさんの次女夫婦、Iさんは、新築した家に無事引つ

越しできました。

新築の際に、ご主人が、御宝前があるので、和室の御宝前専用の間を設けてくれました。

その、ご主人が七月に、交通事故に遭い、後方の車に激しく追突され、自車は大破しました。しかし、「ほとんど怪我も無く本当に不思議だ」と、驚いたそうです。

御宝前を第一にさせて頂いたお計らいで、家族の信心が、また一步前進できました。

これからも、御信心に励ませて頂きたいと、随喜しております。

時間がかかってもあきらめないこと

渋谷教区 Iさん

九月十七日（土曜日）午後二時より、渋谷教区のWさん席にて、後続者育成助行をさせて頂きました。

当日は暑さもぶり返した中でのお助行でしたが、千葉県の佐倉市からHさんが、ちょうど休日でしたので行かせていただきますとのことで、参加され、又、地区全体で八名のお参詣を頂きました。

お講師より渋谷港連合の後続者の信行相続や、勤務成就の御祈願の言上をして頂き、御看経

後、後続者の育成には御祈願をかけ続ける事、時間が掛かっても諦めないで御祈願して御宝前よりお計らいを頂いて、後続者が信心発起するまで根気よく継続することが大切です、とのお話がありました。

信者の気持ちとしては、一刻も早く御信心をしてほしいと思います。人には色々な御因縁があるので御祈願をかけ続ける、御宝前にお任せすることが大事ではないかと感じました。これからも、毎月のお助行に



日晨上人と三女のWさん、お孫さんのSさん

は、この思いをいつも心に染めて、お助行に参加させていただきたいと思います。

★子どもたちの会★

「おばあちゃんが教えてくれた！」

<p>祖母が一番喜んでくれると思いました。</p> <p>南〇～経</p>	<p>おし</p> <p>⑥ 学校帰りにお寺参詣をさせて頂きました。</p> <p>ありがとうございます！病気を克服して、新本堂にお参詣できて本当に良かったですね！！</p> <p>① ありがとうございます！これも皆さんのご祈願のお陰です。</p>
<p>ありがとうございます。</p> <p>おばあちゃん、本当に良かった木！</p> <p>⑦ そして皆さんのご祈願やお助行のお陰で、みるみる良くなりました。</p>	<p>おばあちゃんの為に、お寺参詣頑張っていたもんね！</p> <p>② 突然具合が悪くなってしまって、すごくショックでした。</p>
<p>本当に本当だ木！！</p> <p>⑧ 僕たちにお話を頂く姿を、見せる為に、病気になるのかと思える位、元気になりました！</p>	<p>お会い！</p> <p>③ いつも僕の為にー！</p>
<p>今回頂いたご利益の素晴らしさを、目の当たりにできて、本当に良い経験をしたね！！</p> <p>⑨ ハイ！！本当にそう思っています。</p>	<p>うーん...</p> <p>おばあちゃん、大丈夫？！</p> <p>④ ーと、見守ってくれた祖母が入院してしま</p>
<p>たのしい孫をもって、ありがたい限りです。</p> <p>⑩ この事を皆さんにお伝えるのが、僕の役目だと感じました！！</p>	<p>⑤ 今僕にできるのは、ご祈願を立ててお看経する事だ！！</p>

